

# 青刈えんばくの品種比較試験

畑地の多毛作、田畠輪換、水田の裏後作に、牧草は勿論のこと、青刈飼料作物も各種、各形態に利用されています。

進、ビクトリー一号よりも青刈用の品種の方が生草収量多く極めて有利なことは判然としております。

ここに東京都農業試験場より、青刈えんばくの品種比較試験の貴重な資料が寄せられましたので読者の皆様にお知らせし併せて大いに利用していただきたい

(編集部)

## ○生育調査(第一表参照)

一 目的 最近、一般農家でも種子の入手可能なようになった青刈用品種の生産力を知るため

二 試験方法 ○供試品種、前進、ビクトリー一号、太

豊、農葉、雪印改良一〇一号、岡山黒

○耕種概要 播種期 昭和三六年一〇月二十五日  
播種量 一〇kg 当り四・五キロ  
播種法 畦幅六〇cm 穴条播  
施肥量 (一〇kg 当り) kg  
元肥：廐肥一、二〇〇、硫安三  
○過石三〇、塩加一  
五、石灰一五〇  
追肥：硫安一五

茎数は雪印改良一〇一号が一一本と最も多く、前進が六四本で少なかつた。その間の農葉、岡山黒は一〇〇本以上、ビクトリー一号、太豊は二〇〇

本以下であった。

なお、四月一六日における生育状況は、前進、ビクトリー一号は葉が直立し、畦間に土がよく見え、未だ中耕作業が容易な状態であると感じたが、その他のは葉が垂れ、畦間がほぼかくれた状態で、とくに雪印改良一〇一号はまき畠の中心から土入をしたような状態に開き、畦間は全く見られなかつた。

第一表 生育調査

品種	草丈 (センチ)			(茎數/本間)	出穂期
	前	ビクトリー一号	進		
岡山黒	四月一六日	五月一一日	五月二二日	三〇〇	五月三日
				五一	五月二一日
				三〇九	五月二二日
				三〇五	五月二三日
				三〇九	五月二四日
				三〇九	五月二五日
				三〇九	五月二六日
				三〇九	五月二七日

(註) 出穂期は岡山黒以外は畠外圃場で調査

第二表 収穫調査

品種	五月一日			五月二一日		
	(生草収量) kg/當	指數	葉重比	(生草収量) kg/當	指數	葉重比
岡山黒	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五
太豊	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五
農葉	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五
雪印改良一〇一号	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五
前進	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五
ビクトリー一号	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五
太豊	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五
農葉	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五
雪印改良一〇一号	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五
岡山黒	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五
太豊	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五
農葉	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五
雪印改良一〇一号	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五
前進	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五
ビクトリー一号	六・六	一〇〇	六・五	六・六	一〇〇	六・五

○収量調査(第一表参照)

収穫調査は二期に分けて行なつた。共に葉重比には大差がないが太豊、豊葉、雪印改良一〇一号は前進、ビクトリー一号に比し二〇・三〇%の多収を示した。しかし、雪印改良一〇一号のように茎数の多いものは、茎が細く、多収の時は倒伏の恐れがあるので注意を要する。